

中部 だより



中経連事務局員が、担当するエリアでお聴きした、各県の最新トピックや地域特有の情報を紹介するコーナーです。

サービス産業を製造業と並ぶ産業振興の双発エンジンに ～長野県サービス産業振興戦略～

長野県のサービス産業は、県内総生産や雇用において7割近くを占めるものの、これまで体系だった振興策は行われてこなかった。一方で、スマートフォンやタブレットの普及等による事業環境の変化、消費者の嗜好の細分化、地域や社会の課題解決にビジネスの手法で参加しようとする人々の出現など、サービス産業は新たな可能性(活動領域)を拡大しつつある。

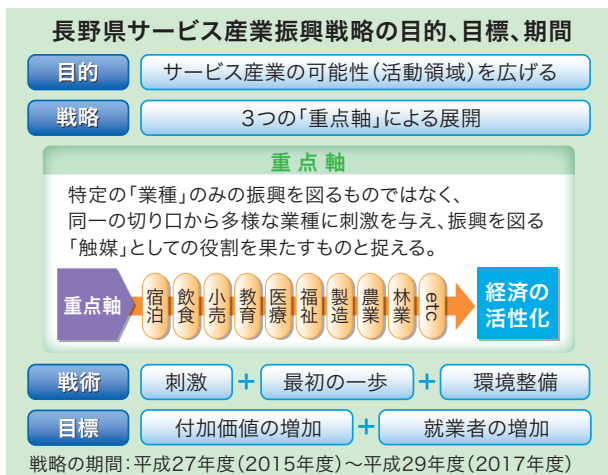
このため、長野県は平成27年3月「長野県サービス産業振興戦略」を策定し、サービス産業を、製造業と並ぶ「双発エンジン」として積極的に振興することとした。

長野県サービス産業振興戦略の概要

戦略の重点軸を①「情報技術・IT」②「ヘルスケア・健康関連」③「スモールビジネス」の3つとし、未来の姿をそれぞれ①「信州をITバレーに」②「医療・介護費支出から、『健康投資』へのシフト」③「意ある芽、小さな芽を育て『居場所と出番』『地域のつながり』を作る」としている。

県は、情報発信やセミナーの開催による「刺激」、相談体制充実や資金調達支援などの「最初の一步(への後押し)」、ネットワークづくりや再チャレンジ支援などの振興策を今後10年間にわたり展開し、サービス産業の付加価値の増加と、女性、シニア、若者の就業者の増加を目標としている。

また、この戦略に基づく「サービス産業振興」は緒に就いたばかりであり、職員が各地の優良事業者を訪問インタビューし、特徴的な取り組み等をWebで情報発信するなど、まずは「現場の声」を聞きながら、できること(事業)から実践している。



出典:長野県サービス産業振興戦略

長野県次世代ヘルスケア産業協議会

こうした県の動きに呼応して、地元関係団体等の連携も進んでいる。例えば、ヘルスケアについては、3月「長野県次世代ヘルスケア産業協議会(会長:花岡清二(一社)長野県経営者協会技術技能委員会委員長、セイコーエプソン(株)相談役)」を設立し、(一社)長野県経営者協会、信州大学等20団体が参画している。6月には同協議会の提案した事業が、経済産業省の実施する地域ヘルスケアビジネス創出支援の対象となり、今後、フィットネスクラブ等の健康産業の振興、森林セラピー基地を核とした観光業の振興、信州リビングラボの構築などに取り組んでいく。

サービス産業の振興は、人口減少による域内需要の減退が危惧される中、地域の経済活性化や雇用増加など地方創生につながる重要な取り組みである。中経連としても、地域が一体となった取り組みの推進に向けて、協力・連携を深めていきたい。

(長野担当 伊藤 康隆)

取材協力:長野県産業労働部サービス産業振興室、(一社)長野県経営者協会